

# 迦陵園だより

2026(令和8)年3月発行  
 社会福祉法人 迦陵園  
 (児童養護施設)  
 〒606-0802  
 京都市左京区下鴨宮崎町109  
 TEL (075)701-0250  
 H P <http://karyouen.or.jp>  
 発行人 社会福祉法人迦陵園  
 編集 迦陵園 広報担当

**養育理念** 子どもの心に寄り添い安全で安心な生活を保障する。

**基本方針**

- ▶ **権利擁護** 子どもたちがひとりの人間として尊重され、自己実現を目指していけるよう支援する。
- ▶ **アタッチメントの形成** 大人との関係の中で安心感を育み、子どもが健やかに成長できるよう支援する。
- ▶ **地域福祉への貢献** 児童福祉で培った知識や経験を積極的に地域へ還元する。

理事長 廣 啓 司

新年あけましておめでとうございます。本年も児童養護施設の運営が十二支にまつわる“天馬空を行く”のごとく発展するようお祈りすると共に、入所児童も職員も、事故無く、無事に送ることができるよう、併せて神様に祈願を続けた元旦でした。

しかし、現実の世界の情勢は、ウクライナへの侵攻が四年続く上に、トランプ大統領の掲げる米国第一主義に立つ、ベネズエラへの真夜中の攻撃と、マドウド大統領夫妻を拘束して目隠しを施し、米国強襲揚陸艦に乗せてニューヨーク市に移動させてという記事が、写真付きで報道されていました。

このような情勢は、如何にトランプ大統領であっても不本意の例外だと除外することは至難であり、世界情勢の不安は避けられません。

また、トランプ大統領が「アメリカがベネズエラ運営に当たり、その国の石油権益を得られるようにする」と豪語した野心も、結果的には逆効果になったと言えます。

このような国際情勢を見つめながら、私達迦陵園の役員として、施設の充実について国に予算の要求を行う場合のあり方を考える時、それぞれの施設の伝統や特性を表面化して、効果のある支援を具体的に示す制度が創設されなければ、永遠に解決されないまま徒過される可能性があります。

言い換えれば、国が児童福祉施設充実の必要予算項目を設定調査して、その解決に当たり、施設の発展を補助する姿勢が大切です。

現在までの迦陵園の施設充実についても、そのよ

うな予算要求活動が十分でなかったと同時に、各施設法人理事長による国会活動組織も形成されていませんでした。

府や市が概算的に取り纏めている程度の予算見積もりより出ていなかったと思います。

児童の生活指導や学習指導、余暇指導、料理、趣味指導等について、積極的に児童心理を成長させて生々と遊ばせる試みを、文化庁の公務として分掌事務化し、文化的成長の可能な分野として位置付けたいものであります。

その視点に立って、特に迦陵園設立当初の状況を見ると、設立者は医師という特性に立って、毎日の食事から運動や健康管理や趣味の指導にまで責任を持ち、日々の反省を怠らない中での生きたものとなっていました。

しかし、今は医師が責任者ではないと同時に、日々の健康管理は職員によらざるを得なくなっており、病状の早期発見の理想には遠く又、国の予算活動においても、全施設に医師配属の理想には遠い実状です。十二支の上では馬であっても「裸馬では落馬がオチ」と笑ってしまう今年です。

だが、頑張ります。国会議員も府会・市会の議員さんも、児童養護施設の充実に力を貸して下さい。選挙を待って大声でお願いしないとイケないのです。

どうか皆様、そのような私達の心への救いの糸を垂らして下さい。

## ☆ 迦陵園イベント ☆

### 地域の行事

毎年楽しく参加させていただいています！



五山の送り火



冷やし手洗祭り

みんな楽しく

### 誕生日

子どものリクエストメニュー・ケーキ・色紙・プレゼントでお祝い♪大切な時間です。



### 季節の行事

食事や体験を通して季節の行事を感じられる取り組みを大切にしています。



### フロア旅行&フロア外出

長期休み等に各フロアで1泊2日の旅行や外出に出掛けます！みんなで楽しい思い出を作っています！



### 個別外出

こどもと職員が1対1で過ごす大切な時間です。外出の内容はこどもと相談して一緒に考えています♪

招待行事や迦陵園の大型イベント「クリスマスパーティー」「卒業お祝い会」等ワクワクする様な行事がたくさんです！



# 2025年度 クリスマスパティー

読み聞かせ



押し活紹介



バンド

ジャンケン大会



歌



ダンス

## 美味しい！可愛い！クリスマスメニュー！



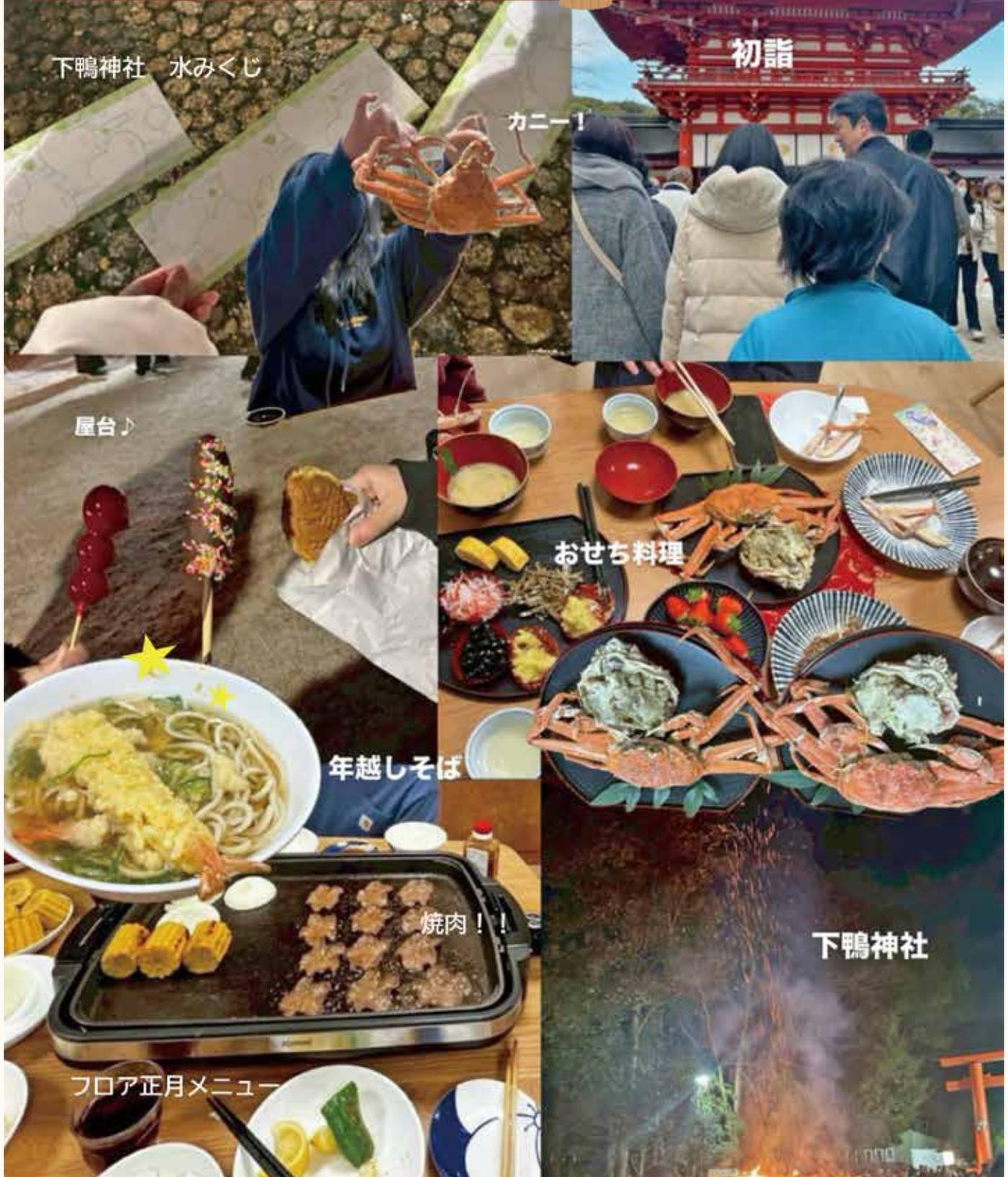
楽しい余興で大盛り上がりのビンゴ大会  
笑顔あふれるパーティーとなりました♪

サンタさんからのプレゼントも  
こどもたちの元に届きました！！



メリークリスマス！！

あけましておめでとうございます。  
本年もよろしく願いいたします。



下鴨神社 水みくじ

初詣

カニー！

屋台♪

おせち料理

年越しそば

焼肉！！

フロア正月メニュー

下鴨神社

2026 年が始まりました！ 今年も笑顔溢れる 1 年になりますように♪

## ●●● メンター制度について ●●●

迦陵園では、新規採用職員へのバックアップとしてメンター制度を導入しています！  
今回は、メンター制度を今、実施している職員とメンターを担っている職員にお話を伺いました！

私は迦陵園に就職し、勤続1年半ほどになりました。この1年半を振り返ると、児童との楽しい思い出や自分の成長を感じられた経験など、充実した時間を多く過ごすことが出来た反面、時には、児童と関わりの中でのトラブルや自分のミスなどにより、傷つきや焦りなど精神的にしんどさを感じる時間も多々ありました。その中で、特に心の支えになったのが「メンター」の先輩職員でした。

メンターという特定の指導をして下さる先輩職員がいることにより、真っ先に頼ることができます。どんなに小さな悩みでも相談することができ、安心を感じながら仕事に向かうことができました。また、自身の成長の為にペースや気持ちを尊重していただき、様々な新しい業務へ共に挑戦できる機会を多く設けていた

だきました。見て学び、実行することを通して、多くの自信や力を養うきっかけにすることが出来ました。

このようなメンターの支えはもちろん、迦陵園では、職員全員に気兼ねなく相談することができ、現在も迦陵園職員全体に支えていただきながら、成長し続けることができている、これからも分からない事は分からないままにせず、相談を重ね、自身の経験や力に変えていき、子どもたち一人ひとりが明るい未来に向かうことが出来るケアに繋がっていきたいと思います。

ケアワーカー まつくぼ (2024年4月入職)

新規採用職員に対してこれまでは、指導する者を限定していませんでしたが、指導する者を限定することで一貫性のあるOJTが実施できると同時に、新規採用職員にとっても相談しやすい環境が提供できると考えられること、また、指導する側にも学びがあり、双方にとって成長できる制度であると考えられることから2024年度よりメンター制度を導入しました。

2025年度より初めてメンターを担当して、私自身、人に教えることが苦手で、メンターとしてどのように相手に寄り添えばよいのか、手探りのままのスタートでした。しかし、研修や日々の実践を経て、私がメンターとして大切にしたいなと思っていることは、子どもと関わる時もメンターとして誰かに関わる時も“導く人”ではなく“伴走してくれる人”であり続ける。相手を信じて待てる自分でいられるか。ということです。

子どもは大人の期待通りに動くのではなく、自分のペース、感じ方等を持っています。時には静かに隣で見守り、気持ちを受け取り、子どもの小さな成長に気づき、つまずいたら一緒に悩み考える。そういった手

放しすぎず、握りしめすぎず、支え続ける姿勢が大切であり、それは大人も一緒なのだなどと改めて思います。

子どもや大人でも関わる相手が変わるたびに、自分の中の新しい部分が引き出されていき、どちらが上、下ではなく、互いに“育ちあう関係”になっていることを感じる日々です。

メンターとは、相手の姿を通して自分の内面を見る仕事でもあり、自分の強み弱みを含め様々な感情の壁にぶつかりながらも、歩幅の大小はありますが自分も相手も一歩一歩成長していると実感できることが私自身メンターとして成長する恩恵だと感じています。まだまだ至らぬ点が多いですが、子どもにとっても大人にとっても“いい伴走者”であれるよう日々努力していきたいです。

ケアワーカー ふくさか (2020年4月入職)

## ●●● 迦陵園メンタルヘルス制度による職員支援 ●●●

今年度から迦陵園メンタルヘルス制度が実施されました。本制度は職員のメンタルヘルス不調を予防的に防ぐことを目的とした制度であり、不調をきたしている職員を支援するための制度です。この制度について詳しく説明する前に、児童養護施設の職員が置かれている現状を赤裸々に語る必要があります。児童養護施設の職員は非常にストレスの多い仕事ですが、「ストレスが多い」というありきたりの言葉では決して表現することができないものがあります。

例えば、入所してきた子どもたちの背景を知ると、私たちのこころはぎゅっと締め付けられて胸が苦しくなります。そのような子どもから、「どうして家に帰れないの?」と聞かれると私たちは返答に窮します。その子のこころが辛さで一杯になり、職員に暴言や暴力が向けられたとしても、私たちはその子どもを許そう、受け入れようと努力し、決して見捨てることはできません。思春期になってくると、子どもたちのこころの痛みが不登校や自傷行為、深夜徘徊や性的なトラブルなどに形を変えて表出してきます。青年期となって自立が目前に迫ってくると、私たちは自立支援に奔走しながら、この子は本当に自立していけるのだろうかかと不安や心配で一杯になります。このように、児童養護施設の職員のこころは傷つき、疲弊し、常に不安や心配に晒され続けるのです。

しかし、これまで迦陵園には職員に対するメンタルヘルスケアに関する制度がありませんでした。多くの企業で採用しているストレスチェックも職員数の関係で義務化の対象外で実施していませんでした。また、もちろん休職制度はありますが、休職に至る前の予防的措置が皆無であり、実際はこころが傷つき、疲弊した職員は最終的に離職してっていました。

私は心理士としてこの現状をずっと歯がゆく思っていました。どうして一般企業や公官庁では当たり前に行われているメンタルヘルスケアが、こんなにストレスが大きい児童養護施設では適応されていないのか、どうして心理士が配属されているのにもっと活用しないのかと思っていました。そして、迦陵園には独自のメンタルヘルス制度が必要なのではないかと思うようになり、施設内で議論を重ねて迦陵園メンタルヘルス制度を創設しました。

迦陵園メンタルヘルス制度の特徴は、年2回のストレスチェック、児童からの暴力被害支援、休職からの職場復帰支援の3つから構成され、その制度の運営の中心を心理士が担っているという点です。

ストレスチェックで高い得点を示している職員には、任意で施設内の心理士との面談や外部機関での受診を推奨すること、さらに、外部機関での心理療法やカウンセリングの費用の負担も含めたものにしました。

児童からの暴力被害については、まずは被害職員に声をかけて「大丈夫?」と聞いてあげることを最優先にしました。そして、被害職員の状態を把握するために心理検査を実施し、結果によっては勤務の配置を変える、外部機関の受診を推奨するなどの介入を行うようにしました。

また、休職からの職場復帰支援についても心理士が復職者の希望や現状を丁寧に聞き取り、無理のない形で職場復帰できるようにしました。

いざ、迦陵園メンタルヘルス制度を実施してみると、この一年だけでも数名の職員に支援が提供され、いかに必要な制度であったかを痛感しました。しかし、まだまだ制度の改善の余地や、実施に当たっての不備があるのも事実です。今後はこの制度をさらに良いものにしていきたいと考えていますし、このような制度が迦陵園だけでなく、他の児童養護施設にも広がっていくことを切に願っています。

心理部 部長 よこやま



## ● ● ● ご招待の御礼 ● ● ●

この度、公益財団法人ノエビアグリーン財団様のご厚意により、迦陵園の子どもたちをヘリコプターフライト体験にご招待くださりました。当日、参加しました子どもはもちろん、引率した職員もヘリコプターで実際にフライトすることは初体験です。皆が緊張しながら、開催場所までの往路はお互いに不安ばかりを吐露していましたが、実際にフライトしてみると、とても楽しく非日常的な時間に子どもたち全員が大喜び。

職員も飛行機とは違った景色に、子ども以上

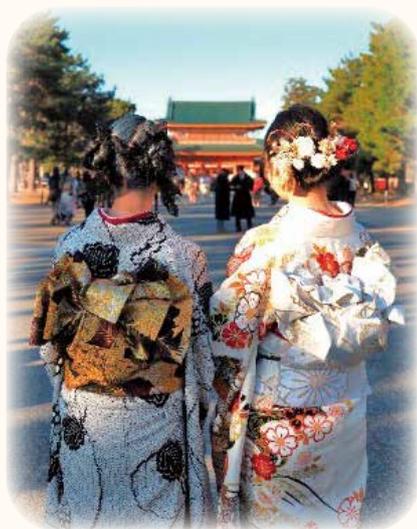
に興奮していたかもしれません。

帰路では本当に体験できてよかったと皆が口を揃えていました。

ご招待くださり、誠にありがとうございました。



## ● ● ● ご寄附の御礼 & 自立支援より ● ● ●



児童養護施設迦陵園の入所児童とTABからびんかの利用者が、成人式を迎えることができました。ここに至るまで、さまざまな経験をし、時には職員とぶつかり、時には他の入所児童と夜通し語り合う。その全てが一瞬のできごとであったかのように感じる振袖姿でした。

児童養護施設に入所した子どもが無事に成人式を迎えられるまで支えてくださった皆様に感謝申し上げます。

又、常日頃から施設にボランティアをしてくださっている方から振袖のご厚意と、TUKUYOMIホールディングス様からのお祝いのご厚意をいただき、誠にありがとうございました。



## ● ● ● 下鴨つどいの広場こがもより ● ● ●

下鴨つどいの広場こがもでは、11月に宝ヶ池公園の体育館へ出張。

おこしやす京都ACのスタッフの皆様と共同で親子ボールあそびを実施しました。開催するまでは、実施にあたり何回も打ち合わせを行いました。参加者が少なければどうしようかとスタッフ一同、不安がありましたが、当日は親子揃って100名を超える参加者の皆様が体験しに来てくださり、皆さん楽しんでお帰りいただけました。

おこしやす京都ACのスタッフの皆様には感謝申し上げます。





## ご支援心から感謝申し上げます。

(2025年7月～2026年1月／敬称略、順不同)

### 【ご寄付】

同志社女子中学校・高等学校、関西不動産情報センター京都部会、古坂和宏、小谷善子、櫻井佳世子、永塩多津子、下鴨民生児童委員協議会、洛南高等学校生徒会・洛南高等学校附属中学校生徒会、松久宗琳佛所、岸本直子、大森あゆみ、下鴨学区社会福祉協議会、株式会社エリッツホールディングス、株式会社TUKUYOMIホールディングス、佐々木真一郎、株式会社開啓、京都環境事業協同組合、小畑秀平、大日倉庫株式会社、小方登、コムラ

### 【ご寄贈】

武田淳一、株式会社大丸松坂屋百貨店大丸京都店、武藤康司、京都豆菓子協同組合、森下徹、株式会社アスタラ、新多良子、スタジオ北山山荘 神谷潔、岡里栄子、伊藤晴美、岡部奨平、山田朋美、永井佐和、工藤理恵、佐藤隆善、滝川俊子、株式会社三三九、上原ゆみ、音川学、来家恵美子、京都中小企業家同友会、大森あゆみ、ザ・リッツ・カールトン京都、株式会社わかさ生活、美鈴サンタ事務局、田中由佳、サンタツーリング、井上八千代、株式会社コンセプト、株式会社朱常分店、日本新薬株式会社、日本鏡餅組合、栗本ゆき、京都市食肉青年会、京都青果協会、全国シャンメリー協同組合、平安神宮全国銘菓献饌奉賛会、さがえすみえ、伏見稻荷大社、宇高節子、株式会社有喜屋、保司英行、NPO法人ADCカカオの木、株式会社エリッツホールディングス、き乃糸旅館、無名友人、公益財団法人栗和田福祉財団、株式会社チュチュアンナ、株式会社フレーベル館、石田賀奈子、株式会社いちなん、いもぼう平野家本家、株式会社講談社、ミヤケノボル、一般社団法人ハートリボン協会、上羽清子、室賀正一、協同食品株式会社、小畑秀平 NPO法人ピースプロジェクト、一般財団法人日本出版クラブ、一般社団法人日本レコード協会

### 【行事のご招待等】

株式会社大丸松坂屋百貨店大丸京都店、竹上内科クリニック、公益財団法人オリックス宮内財団、株式会社京都パープルサンガ、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、公益財団法人ノエビアグリーン財団、シマダデンタルクリニック（歯科矯正）、京都中小企業家同友会（就労体験）

### 【ご助成】

公益財団法人京都新聞社会福祉事業団、NHK歳末たすけあい、一般財団法人篠原欣子記念財団、公益財団法人稲盛福祉財団

